

教科名	数学	学年	1 学年
-----	----	----	------

目 標	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 1 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 2 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。 3 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。
学年の目標	数学の基礎的・基本的な概念や性質に触れ、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

月	時数	単元名 題材名	単元目標 (観点別の目標)	学習内容	評価の観点 (生徒の達成度を A～D の 4 段階で総合評価)
4 5 6 7 8 9	15	A 数と計算	【知識及び技能】 ・整数の表し方や四則について理解するとともに、計算する技能を身に付けるようにする。 【思考、判断、表現力】 ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、数の比べ方や表し方を統合的に捉えて考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさを実感し、学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	1 整数の表し方 (1) 万、億、兆の単位、記数法の理解 (2) 1 0 倍、1 0 0 倍、1 0 0 0 倍、1 ／ 1 0 の操作と表現 2 整数の加法・減法 (1) 4 桁までの筆算の仕方、練習 (2) 金銭 3 整数の乗法 (1) 九九、3 桁までの筆算の仕方、練習 (2) 乗法に関して成り立つ性質 (3) 金銭	【知識・技能】 1 段階：整数の加法・減法の方法を理解することができる。 2 段階：整数の加法・減法の方法を理解し、正しく計算することができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：正しい筆算の方法に沿って計算し、計算の順序を説明することができる。 2 段階：筆算を用いて、解答方法を説明することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：数量について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。 2 段階：数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉えることができる。
					評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想
10 11	6	B 図形	【知識及び技能】 ・長方形、正方形、三角形、平行四辺形の面積を求めたりする技能を身に付けるようにする。 【思考、判断、表現力】 ・長方形、正方形、三角形、平行四辺形面積の求め方を考え、その表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導く力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。	1 平面図形の面積 (1) 長方形、正方形の面積の確認 (2) 三角形の面積 (3) 行四辺形の面積 ※公式の成り立ち、公式の活用、公式の作成の観点を取り入れる。	【知識・技能】 1 段階：長方形、正方形の面積を求めることができる。 2 段階：長方形、正方形、三角形、平行四辺形の面積を求めることができる。
					【思考・判断・表現】 1 段階：公式に当てはめる辺の長さを見分けることができる。 2 段階：公式に当てはめる辺の長さについて、適切であることを論理的に説明することができる。
					【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。 2 段階：図形や数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉えることができる。
					評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想

12 1	7	C 変化と関係	【知識及び技能】 ・速さ、百分率について理解する。	1 異種の二つの量の割合として捉えられる数量 2 速さ（単位量あたりの大きさ）の意味、表し方 3 二つの数量の関係 (1) 百分率を用いた表し方、割合の求め方 (2) 図や式などを用いて、比べ方を考察する。	【知識・技能】 1 段階：速さの意味を理解することができる。 2 段階：基礎的な速さの問題を解くことができる。
			【思考、判断、表現力】 ・異種の二つの量の割合を用いた数量の比べ方を考察したりする力を養う。		【思考・判断・表現】 1 段階：速さの意味から計算方法を考察することができる。 2 段階：速さの意味から、単位量の考え方に広げることができる。
			【学びに向かう力、人間性等】 ・数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		【主体的に学習に取り組む態度】 （ 1 段階：数量について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。 2 段階：数量について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉えることができる。
			評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想		
2 3	7	D データの活用	【知識及び技能】 ・データをグラフで表す表し方や読み取り方について理解する。	1 データの収集とその分析 (1) 棒グラフ、折れ線グラフの表し方、読み方 (2) 数量の関係を割合で捉え、円グラフや帯グラフでの表し方、読み方 (3) 円グラフや帯グラフの意味やそれらの使い方	【知識・技能】 1 段階：棒グラフ、折れ線グラフを描くことができる。 2 段階：棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフを描くことができる。
			【思考、判断、表現力】 ・データを収集した目的やデータの特徴や傾向に着目して、多面的に捉え考察したりする力を養う。		【思考・判断・表現】 1 段階：グラフ上の指摘された数値を答えることができる。 2 段階：データを収集した目的やデータの特徴や傾向について説明することができる。
			【学びに向かう力、人間性等】 ・データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。		【主体的に学習に取り組む態度】 1 段階：データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返ることができる。 2 段階：データの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉えることができる。
			評価方法：授業プリント、発言・発表、取り組みの様子、感想		